2026年11月号

KDKニュース
国内開拓伝道会

Vol. 145

KDKの3つの原則

1．開拓伝道であること
2．教会を建てあげること
3．聖書信仰に立つ教団・教派との協力

■巻頭言■

「いつまでですか、主よ」

KDK会長　嵐 時雄



> いつまでですか、主よ。私が叫び求めているのに、
> あなたが聞いてくださらないのは。「暴虐だ」とあなたに
> 叫んでいるのに、救ってくださらないのは。（ハバクク書1章2節）

「天職」という言葉があります。辞書を引きますと「天から与えられた神聖な職務」と書かれています。この場合、本人の能力や個性、あるいは好みといったことはあまり重要視されていません。その職務の任命権者と、それを使命として受け止める者の関係が重要となります。聖書に登場する「預言者」は、神に命じられてその働きに携わっている人が大半ですので、「天職に就いている人」と呼ぶことができます。彼らの主な働きは、神のことばを受け取り、それを神の代弁者として人々に伝えることです。

ハバククは、ご存じのように預言者のひとりです。彼が生き、活動した時代、すなわち紀元前６００年前後、ユダの国は、希望や将来性を見ることのできる状態ではありませんでした。国を改革に導いていたヨシヤ王は志半ばで戦死してしまいました。その後、ヨシヤの二人の息子エホアハズとエホヤキムが順に後を継ぎましたが、いずれも神のみこころを無視したため、ユダ王国は信仰的、霊的にも道徳的にもどん底に陥りました。おまけに外に目を向ければバビロンの急速な勢力伸張の中で、この小さな王国は「風前の灯火」のような状態にありました。

そのような状況下で、ハバククは神からの召しを受けました。ところが、彼の場合、神のことばを人々に伝達することよりも、預言者自身が神に訴える、ということが主流となっていました。ですからハバクク書には、他の預言者の記した文書のように「主は、こう仰せられる」とか「主の御告げ」といった言葉が一切ありません。特に前半部は、ハバククによる神への問いかけとそれに対する神の応答で占められています。

「いつまでですか、主よ。私が叫び求めているのに、あなたが聞いてくださらないのは。『暴虐だ』とあなたに叫んでいるのに、救ってくださらないのは。」（２）

国際情勢がひっ迫している状況にありましたが、ハバククは、いの一番に自国、すなわちユダ王国の問題を取り上げました。神の民としての自負を必要以上に強く持っていたユダ王国ですが、そのときの状況は惨憺たるものでした。預言者はその実情を神に訴えました。神が何とかしてくださるに違いない、いや、何とかしてくださらなければ、どうにもならない、と考えたからです。ハバククのこれらの言葉、訴えの背後には、彼が神に対して持っていた絶対的な信頼があります。正しい神は不法のはびこるのを決して放っておかれることはない、という信頼の思いです。

「神を畏れよ」とはよく聞く言葉です。確かにその通りです。私たちは天地の創造者にして、私たちのいのちの付与者である神を恐れて生きるべきです。友達感覚で馴れ馴れしく振る舞うのは決して相応しいことではありません。しかし、「恐れること」イコール「怖がること」「遠慮すること」ではありません。神はイエス・キリストを通して罪人である私たちに近づいてくださいました。ですから、ハバククのように大胆に、そして親しみをもって私たちの率直な思いを神のもとに届けることは可能です。もちろん神は私たちがそのように対応することを求めておられます。神は、ご自分のしもべたちの訴えや要求を決して無視したり拒んだりなさらないからです。

目　次

1P・・巻頭言：嵐 時雄（KDK会長）
2P・・開拓者の近況：４教会（中山・大喜多・瓜生・入江）
3P・・高知セミナー報告（佐伯 真師・原 一師）
　　帯広セミナー予告／各地区の祈りの課題
4P・・OBだより（白畑 司師）／クリスマス献金のお願い
　　献金報告・サポート募集

国内開拓伝道会（KDK）
発行：2026年11月5日
発行人：会長　嵐 時雄
WEB：https://kdk.asia
振替：00140-6-57493

開拓者の近況

各教会の近況と祈りの課題です。次頁の地区の祈りとあわせてお祈りください。

福岡シャインチャーチ

福岡市／開拓10年目・支援4年目



中山有太・あゆみ

〇近況

いつもシャインチャーチを覚えてお祈りくださり、またサポートしてくださり、ありがとうございます。

開拓10年目となり、祈りが強められ、宣教への思いが教会に溢れていることを感謝しています。

9月24日の駅前アウトリーチで出会った高校生2人が木曜礼拝に来てくれました。また信徒の未信者の友人が1人参加しました。信仰の決心の招きをすると2人の方が手を挙げ応答してくださいました。まだ彼らは日曜礼拝に来れていませんが、祈り、誘い続けます。

11月には信徒の方が企画し、導いてくれるミニ運動会が礼拝後に行われます。宣教のために、ノンクリスチャンを誘って祈り備えています。

シャインチャーチでは公共施設を借りて礼拝していますが、借りられない日があったり、定員数を超えてしまう日もあり、会堂が与えられるように切実に信徒の皆さんと祈っています。共に覚えて祈ってくださること、サポートしてくださること、心から感謝します。とても支えられています。皆様の上に主の祝福がますます注がれますようにお祈り致します。

〇祈りの課題

会堂と全ての経済が与えられるように。

仙南チャペル

大喜多義也・満智子

宮城県／

再開拓・支援6年目



〇近況

主の御名を賛美いたします。皆様の祈りとご支援に感謝いたします。

2026年度は新しい出会いを求め、改めて地域に「教会を知っていただく」ことを目指して歩みを踏み出し、夏には子どもキャンプや海外教会の協力によるEnglish Campなどを通して数家族との出会いが与えられました。秋はその関係を深めるフェーズとして宣教に取り組んでいます。11月には収穫感謝と次世代祝福の行事を教会員と共に計画しており、どうしたらより参加された地域の方々と教会のメンバーとがコミュニケーションを取れるかを話し合いながら備えています。また、これまでずっと教会とは距離を置いていた教会員の未信者の家族が、この秋何度か教会の行事に参加するようになりました。このことも含めて、今は関係を深めるフェーズに立たされていると感じております。

〇祈りの課題

・交わりの与えられた方々の関心が御言葉と教会とに開かれるように。

・求道中の方々の決心のために。

鹿児島いずみ教会

瓜生和彦・園子

出水市／開拓5年目・支援3年目



〇近況

①9月に同盟教団伝道部主催のキャラバン伝道が行われ、5名のキャラバン隊員を受け入れました。

台風の影響が心配されましたが、連日のトラクト配布、子ども伝道集会と青年集会、そして主日礼拝の御奉仕と恵み盛り沢山でした。配られたトラクトでの新来会はまだおられませんが、少しずつ新会堂が地域に認知されてきています。

②LED十字架を設置しました。外壁に掲げられているLED十字架が、夜に美しい光を放っています。地域の方々から「素敵ですね！」とお声をかけていただく機会が増えてきており、感謝です。

③教会の青年たちへの必要性を覚え、4名の青年たちと、それぞれ個別に学び会を持っています（男性は牧師が、女性は伝道師が対応）。結婚の備えや進路のため、主の御心を祈り求めつつ、それぞれテキストを用いて学んでいます。

〇祈りの課題

①新来会者・受洗者が与えられるように

②青年たちに寄り添いながら適切な指導が出来るように

佐賀バイブルチャーチ

入江喜久雄

佐賀市／開拓3年目・支援2年目



10月18日の歓迎礼拝後の写真です。

〇近況

近況として、移動書店ゴスペルボックスが10月14日に佐賀に来て、集った人は多くの福音文書を購入しました。

また10月15日～18日にかけてキャラバン伝道があり、多くの奉仕者と共に佐賀の方々へ15000枚（新聞折り込み1万枚、5000枚手配り）の福音文書を配布しました。また18日は歓迎礼拝とミニ・ゴスペルコンサートを行いました。説教者の篠原哲二牧師、ゴスペルシンガーの内藤容子さんと賛美フラの成美さんが素晴らしい奉仕を主にささげてくださいました。新来者はいませんでしたが、礼拝に出席している方々が福音による一致を体験しました。教会が福音によって一致した信仰共同体となったことを心から主に感謝をささげます。また6月30日に購入した小さな土地で、キャラバン伝道で奉仕した方々と神へ祈りをささげました。

〇祈りの課題

・佐賀市と近隣市町村から救われる人が多く起こされるように。

・毎週、福音を宣教するように。

■「教会開拓・形成セミナー」開催報告

高知グレースチャーチ　佐伯 真



9月1日（火）、教会開拓者および牧会者を対象とした「教会開拓・形成セミナー」が高知で開催されました。

今回が初めての地方開催となり、交通の便が決して良いとは言えない高知で、どれほどの参加者が集まるか心配されました。しかし、当日は四国各県から、講師を除いて21名の参加者が与えられ、感謝な集会となりました。

講師には、千歳キリスト教会の嵐時雄師をお迎えし、「地方教会の牧会的健康回復」、玉川キリスト教会の福井誠師による「地図情報を使って、教会の宣教の可能性を探る」、大田原キリスト教会の大橋富男師による「共同牧会と外部協力による教会形成」の三つの講演が行われました。

教会開拓から牧会、教会形成、宣教協力に至るまで、幅広い観点から、それぞれの経験に裏付けられた示唆に富む講演をいただきました。地方教会が課題を改めて見つめ直すとともに、これからの教会形成と宣教の可能性について考える貴重な機会となりました。



■ 教会開拓・形成セミナーin高知に参加して

日本福音キリスト教会連合　国分寺キリスト教会牧師　原 一

今回、セミナーの会場となった高知グレースチャーチ牧師の佐伯真先生から集会のご案内をいただき、参加させていただきました。講師の三人の先生がたより、各視点からの貴重な発題があり新たな気づきや発見もあり感謝でした。嵐時雄先生は現在、同じJECAに属する先輩の牧師として、お話とお証しを通して、その宣教と牧会、教会形成のご苦労と喜びを垣間見ることができました。福井誠先生はあらゆる情報を元にさまざまなデータをきちんとまとめておられ、非常に分析的であり、宣教の可能性についての理解を深めることができました。大橋富男先生は共同牧会と外部協力という観点からのお話があり、主に導かれての教会形成に励ましをいただきました。

かつてKDKの支援でお世話になった開拓教会（義父が牧会する教会）で奉仕する機会が５年間与えられ、週５日アルバイトをしながらの伝道と教会形成は私にとって貴重な体験であり、現在、少子高齢化の影響を大きく受けている人口減少の香川県で主に仕えることの喜びと苦労を、日々味わっています。セミナーに参加された他教会の先生がたとのお交わりも与えられ、感謝でした。KDKの尊いお働きのために引き続きお祈りさせていただきます。

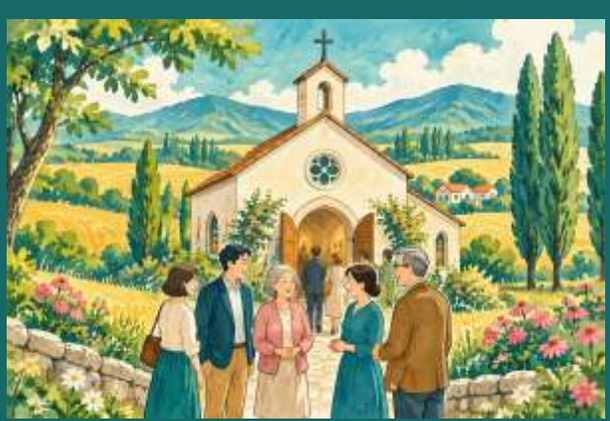
開催予告　2027年9月　北海道・帯広

KDK開拓伝道セミナー in TOKACHI（十勝）

セッション内容（予定）

1　地方教会の牧会的健康回復＆質疑応答
2　地図情報を使って、教会の宣教の可能性を探る
3　共同牧会と外部協力による教会形成

＊詳細は、次号以降でお知らせします。



■ 各地区の祈りの課題　掲載予告

これまでセミナーを開催した仙台・沖縄・四国の祈りの課題を、今後、本誌で順次ご紹介します。

各地の教会開拓・教会形成の働きを覚えてお祈りください。

■ 開拓・再開拓のための祈りのネットワーク

本ニュースを定期的にお読みになりたい、また日本での開拓・再開拓教会のためにお祈りをしたいと思われる方は、ぜひ、この祈りのネットワークに加わってください。ご登録で祈りの課題をメールでお届けします。祈祷会や週報でご自由にお用いください。

登録：右のQRコード
https://kdk.asia/

OBだより／事務局から

白畑 司（保守バプテスト同盟 市ヶ尾キリスト教会牧師）



私たちの教会、市ヶ尾キリスト教会は、今年創設42周年を迎えます。当時私が牧師をしていた御徒町キリスト教会の、横浜・川崎地区の開拓伝道の最初の伝道地としてスタートし、その背後には、山形を中心とした宣教をした故ジョセフ・ミーコ宣教師の首都圏宣教のビジョンがありました。

開拓伝道当初、暗中模索のような思いの中で、霊的にも経済的にも戦略的にも厳しい状況でしたが、KDKからの経済的支援、祈りのサポート、毎月の宣教報告提出などで、ことばでは表せないほどのお世話になりました。ここで紙面をお借りして、サポートしてくださった方々に改めて感謝申し上げます。

私たちの教会は、一時は、メンバーが40名ほどで、会堂返済、宗教法人の認証を受けました。諸事情が重なり、今はその半分ほどの規模です。しかし、主イエスの弟子として歩み成長しようとする思いは、ますます強まっています。

教会形成、教会成長を求める中で、イエスさまを手本とした弟子訓練を教会の骨子として、また、聖霊に関する歴史的な流れ、言語からの学び、世界での聖霊の働きなどを見聞して、礼拝や教会形成のスタイルも変化してきました。

個人的には、新約聖書を原典で学びたい一心で始まったインターリニア新約聖書の全巻完成、聖書ギリシャ語クラスの開設、今は、AIを用いての一節ごとのパワーポイントを作成して、文字では見えなかった部分を見ていく祝福を味わっています。ハレルヤ！

＜献金者名＞2026年7月～9月分（50音順敬称略）

〇個人

神尾鋼行、神尾紀代子、河成海、田代浩子、長谷部裕子、匿名

〇教会・団体

旭川神愛キリスト教会、美しが丘グリーンチャペル、栄光キリスト教会、国分寺バプテスト教会、城山キリスト教会、鳥栖曽根崎キリスト教会、新座志木バプテスト教会、日本長老教会、日本同盟基督教団、拝島バプテスト教会、真砂バプテスト教会、八千代キリスト教会

●クリスマス献金のお願い

いつもKDK国内開拓伝道会の働きを覚えてお祈りいただいていますこと、心より感謝申し上げます。皆様のお祈りとお支えによって、KDKとのかかわりの中で、宣教に勤しんでいる伝道者たちは大きな励ましを受けております。

近年、日本の宣教は停滞していると言われても仕方のない状況にあります。しかし、困難に耐え、失われ行く魂のため懸命に祈り労している開拓伝道者は少なくありません。KDKは、そのような伝道者と教会をサポートすることを使命と捉えています。この働きを継続することができるよう、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。（嵐 時雄）

■ **ご献金はこう用いられています**　開拓サポートの月額支給（１年目120,000円～７年目30,000円）と、各地のセミナー・リトリートの開催費に用いられています。心より感謝申し上げます。
▷ **参加の入口：**支援献金／セミナー参加／祈りのネットワーク登録（https://kdk.asia）

開拓サポート申請・受給資格と2028年サポート受給者募集

【受給資格】①教会形成を目指す開拓伝道　②福音的な教団教派の協力による開拓伝道　③開拓期（再開拓を含む）の教会

【支給額（月額）】1年目120,000円／2年目105,000円／3年目90,000円／4年目75,000円／5年目60,000円／6年目45,000円／7年目30,000円（7年目で終了）

【2028年4月開始分の募集】申請用紙を事務局にご請求のうえ、KDK所定の書類をご提出ください。
提出期限は2027年6月20日（必着）です。

【お問い合わせ】国内開拓伝道会事務局　岸尾 光／
〒352-0011 埼玉県新座市野火止4-8-28 新座志木バプテスト教会
☎ 090-2567-0457　✉ nsbc@church.ne.jp　WEB https://kdk.asia